

KANUMA NO MEISHO

鹿沼の名匠

高橋

たかはし

和雄

かずお



高橋 和雄

「アイデアは執念から」の言葉を大切に、58年間第一線で現場に立ちながら現在は後進の指導にもあたり、新製品の開発に力を注ぐ高橋さん。幼いころから木の香りの中で育ち、父親が営む木製品製造業に従事。その後、鹿沼木工団地内に木工場を移設し、現在は、主に和せいろの蓋やスノコなどの家庭用木製品や家具を製造しています。

「鹿沼産森林認証材」のヒノキなど、地場産材にこだわった木製品の製造開発に注力し続け、41品目にも及ぶ特許・実用新案の取得(意匠登録を含めると50品目の取得)を達成しました。なかでも、「布団干し機能付きスノコベッド」は、シリーズ累計60万台以上の販売実績を上げ、「かめまブランド」にも認定されるなど、地場産業の発展にも多大な貢献を果たしています。

「木を材料として、これまでにない便利なものを開発し、より多くの人に木に触

れていただきたい。この気概を念頭に、半世紀以上、木工業に携わってきました。」と高橋さん。試行錯誤を重ね、何百もの試作品を作ってきましたが、アイデアを形にするための技術や材料を一から作り出すことが最も難しいと言います。「新たなアイデアを形にする」、その卓越した技術力こそが高橋さんの強みです。

「就業当初はほとんどが手作業で、多種多様な木工器具を駆使し、耐久性を考へながら製造にあたっていました。木工機械が進歩した現在も、一本一本異なる木材の特性を最大限に活かすため、肝心なところは職人の手作業が不可欠となります。これまで培ってきた技術と知識を若い後輩たちに引き継いでいくこと、それが今後の使命だと思っています。」

木製品が持つ魅力を次世代へと継承するため、高橋さんは今日もなお、変わる事のない情熱を持って現場に立ちながら、後進の指導にもあたっています。

◆家庭用木製品・家具製造

★鹿沼市